

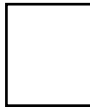


【mFOLFOX6+アバスチン療法について】

(フルオロウラシル+レボホリナート+オキサリプラチン+アバスチン)



様



コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28																												1日目						
			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28							
イメドカプセル	吐き気止めです	1日1回 内服				1日目は、抗がん剤の投与開始 60~90分前 に飲んでください。																	1日目は、抗がん剤の投与開始 60~90分前 に飲んでください。														
アバスチン注	抗がん剤です	90分		2回目から点滴時間が短くなる場合があります。																																	2回目から点滴時間が短くなる場合があります。
グラニセトン注	吐き気止めです	30分																1回1錠																	1回1錠		
デキサート注	吐き気止めです	朝 内服				この週はお休みです。																															
デカドロン錠	吐き気止めです	朝 内服																		この週はお休みです。																	この週はお休みです。
オキサリプラチン注	抗がん剤です	2時間		この週はお休みです。																															この週はお休みです。		
レボホリナート注	フルオロウラシルの効果を強める薬です	2時間																この週はお休みです。																			
フルオロウラシル注	抗がん剤です	約5分		この週はお休みです。																															この週はお休みです。		
フルオロウラシル注(持続)	抗がん剤です	46時間																	この週はお休みです。																		



治療による副作用

：注意が必要な時期

		1日目 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28																												1日目
自覚症状	過敏症	痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																												
	食欲不振・吐き気	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																												
	手足のしびれ	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。冷たい物に触れないようにしましょう。																												
	口内炎	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																												
	色素沈着	肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																												
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																												
検査値	白血球減少	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを中心に行いましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
	血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																												
	肝機能低下	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																												

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていますが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

- 血圧上昇
- 出血(鼻血など)
- タンパク尿
- 胃腸穿孔(下痢や腹痛が続く、激しい腹痛など)
- 傷の治りが遅い



●血栓・塞栓（足が腫れたり痛む、息苦しい、胸痛、片側のまひ、言葉がうまく出ない、気分が悪い、めまいなど）

- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。